



平成18年度

施政方針

6月26日(月)、南島原市として初めての市議会定例会が開催されました。会議冒頭で松島市長は、新市の道しるべとなる施政方針を明らかにしました。この中で、8町全体における市民融和のもと、新市の活気あふれる各種施策を実現するため、これまでの合併協議会の建設計画を大事にしたうえで、市長の政治信条である『ローカルマニフェスト』の実施に向け、地域力を活かしたまちづくりや行財政改革などの重要施策を示しました。今月号では、施策方針の全文を掲載いたします。(予算などについては、次号掲載予定です)

8つの心を一つにして、 ふるさと 新しい南島原市づくり！



施政方針を述べる松島世佳市長

はじめに

本日ここに、平成18年第1回南島原市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、ご健勝にてご出席賜り厚くお礼を申し上げます。私は、このたびの8町合併に伴い、新しく誕生いたしました南島原市の初代市長として、5月14日に就任い

いたしましたところですが、これからの地方自治は中央に頼らない自立が求められ、リーダーの責任がこれまでに以上に重いものになります。合併における引き継ぎも受け、市長として改めて職責の重要さを痛感し、決意を新たにしているところであります。私は、8つの心を一つにして、市民融和のもと、新市を活気あふれるふるさとにするため、「新しいしくみ」「産業の振興」「観光の推進」「教育・文化の充実」「住みよい地域づくり」について、ローカルマニフェストを發表しております。

このマニフェストを実行していくに当たりましては、合併協議会で決定されている新市建設計画を大事にしながら、市民の意見・地域の声を真摯に受け止め、夢があふれる各種施策を実現していきたいと考えております。

なお、マニフェストは私の政治信条として在任期間において取り組むべき考え方でありますので、まずは現状を調査し課題を把握した上で、財政的にも配慮しながら、実施可能なものから取り組んでまいります。それでは、平成18年度の予算案を提出するに当たりまして、その基本となる施政方針についてご説明申し上げます、議会において十分なご審議を賜りますとともに、市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい 市政の 考え方

①新市建設計画の推進と総合計画の策定

南島原市は、陽光きらめく温暖な気候に恵まれ、緑豊かに広がる大地、長く連なる海岸線を有し、それぞれの町が歴史を尊重しながら個性豊かな地域性をはぐくんできたところです。

南向きに生きよう！
緑とぬくもりのある感動創造産地
太陽と自然の恵みでひとときわ輝く
南島原市

を基本理念に、南島原市の「新市建設計画」が、8町の総合計画や広域行政圏計画等を踏まえた上で、これらを発展的に継承し、市民の声を反映した新しい視点を盛り込んで、合併後のマスタープランとして作成されております。新市のまちづくりは、市民とともに

に考える開かれた市政を基本にし、都市として自立し継続しなければなりません。そのためには、生活基盤としての地域が豊かで明るく安心できることが求められ、また8つの心の一つにした新しいふるさとづくりを進める必要があります。

加えて、新市の将来像を実現していくためには、種々の施策を実施していくことが必要であり、そのためには市民、地域、企業、行政の相互理解と信頼は不可欠であります。また、半島3市が連携・協調することも大変重要なことであります。

この地域の歴史ある史跡や景観のすばらしさは、新市の財産として活用しなければならぬものであります。また、市民やボランティア団体等が8町の個性を生かして主体的に実施してきたまちづくり事業は、魅力や個性を更に引き出し、付加価値の高い事業にしなければならぬと考えるところです。

このほか、社会環境の変化が著しい現在においては、従来の考え方に固執することなく発想を転換し、柔軟な姿勢で事業を実施していく必要があります。

特に、防災と市民の暮らしの安全を守る施策や、福祉の向上、教育の充実など、市民生活に直結するものに対しては、行政として基本的な責務をしっかりと果たしてまいります。